



本書の構成


準備／基本

必ずお読みください！

本機をお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な共通操作などまとめて説明しています。


 準備／基礎知識 1

 共通操作 2

 電話 3


セキュリティ


セキュリティを強化する機能について説明しています。


 セキュリティ 4


機能


本機の代表的な機能を章単位ごとにまとめて説明しています。
お使いになりたい機能の章をお読みください。


 メール 5

 インターネット 6

 カメラ 7


 テレビ 8

 音楽／S!アプリ 9

 エンタテインメント 10


ツール


本機で利用できるその他の便利なツール（道具）について説明しています。

 ツール 11

データ管理／通信


データフォルダやデータ通信を利用したデータ管理について説明しています。

 データ管理 12

 通信 13

カスタマイズ

使いこなすためのカスタマイズ方法について説明しています。

 カスタマイズ 14

資料／各種情報／索引

本機についての資料や各種情報、索引をまとめています。

 資料／付録 15

ご注意！

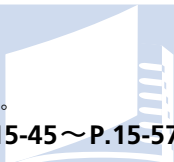
本書は、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。設定を変更されていたり、他の機能が動作しているときなどは、動作が異なったり、動作しないことがあります。あらかじめご了承ください。

カンタン検索

●機能やサービスの名前から探す

機能やサービスの名前がわかっているときは目次や索引、インデックスから探しましょう。

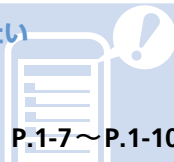
P.vi～P.vii、 P.15-45～P.15-57



●画面の表示やマークの意味を知りたい

「ディスプレイについて」から探すことができます。

P.1-7～P.1-10



●基本的な操作を覚えたい

メニューからの機能選択が操作の基本です。ボタンの使い方などもおぼえておきましょう。

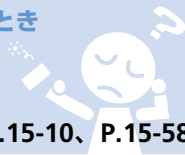
P.2-2～P.2-8



●おかしいな…故障かな？と思ったとき

故障かな？と思ったらご覧ください。保証とアフターサービスについても説明しています。

P.15-6～P.15-10、 P.15-58



●こんなことがしたい！

したいことや目的が決まっているときはここから探すことができます。



とにかく早く
基本操作を
覚えたい

新しいケータイを
友達に知らせたい

自分だけの
ケータイに
カスタマイズ

電話やメール
以外でも
便利に使いたい

ソフトバンク
ケータイだから
できる

<p>操作の基本を覚えたい</p> <p>メニューからの機能選択が操作の基本です。ボタンの使い方も覚えましょう。</p> <p>P.2-2</p>	<p>文字入力のしくみを覚えたい</p> <p>メールなどでは文字入力が必要です。便利な入力方式も活用しましょう。</p> <p>P.2-11</p>	<p>メールを使ってみたい</p> <p>メールを目的に応じて使い分けましょう。</p> <p>P.5-2</p>	<p>インターネットを利用したい</p> <p>ソフトバンクならではのYahoo! 連動サービスが利用できます。</p> <p>P.6-2</p>
<p>自分の電話番号を確認したい</p> <p>自分の番号は、簡単な操作で確認できます。</p> <p>P.1-22</p>	<p>自分の情報を登録したい</p> <p>自分の情報を登録しておく、友達に伝えるときなどに便利です。</p> <p>P.1-22</p>	<p>アドレスを変更したい</p> <p>お好きなメールアドレスに変更できます。</p> <p>P.5-4</p>	<p>近くの友達にアドレスを伝えたい</p> <p>赤外線通信が便利です。自分の情報を登録してから操作しましょう。</p> <p>P.13-2</p>
<p>音楽を入手したい</p> <p>簡単なメニュー操作で着うた[®]サイトからダウンロードできます。</p> <p>P.9-4</p>	<p>音楽などを着信音に設定したい</p> <p>着信音設定で音楽を選ぶだけでOKです。</p> <p>P.14-8</p>	<p>待受画面をアレンジしたい</p> <p>お好きな画像を背景画像に設定して、その上に時計やカレンダーを表示できます。</p> <p>P.14-3</p>	<p>各機能をコンテンツに使いたい</p> <p>よく使う機能を待受画面に登録して、すぐに呼び出すことができます。</p> <p>P.2-3</p>
<p>音楽プレーヤーとして使いたい</p> <p>音楽のダウンロードも簡単にできます。</p> <p>P.9-2</p>	<p>カメラ/ビデオとして使いたい</p> <p>静止画や動画を撮影できます。</p> <p>P.7-2</p>	<p>テレビとして使いたい</p> <p>移動体通信向け地上波デジタルテレビ「ワンセグ」に対応しています。</p> <p>P.8-2</p>	<p>おサイフケータイ[®]として使いたい</p> <p>本機を、電子マネーを使った買い物や、交通チケット、ポイントカードなどとして利用できます。</p> <p>P.11-2</p>
<p>Yahoo! ケータイサイト</p> <p>ソフトバンクケータイ専用のポータルサイトを提供。インターネットをより便利に利用できます。</p> <p>P.6-3</p>	<p>デコレメール</p> <p>メール本文の文字色や背景などを装飾したり、画像などを挿入して表現豊かなS!メールを作成できます。</p> <p>P.5-6</p>	<p>ゲーム機として使いたい</p> <p>S! アプリを使ってみましょう。Yahoo! ケータイからダウンロードもできます。</p> <p>P.9-8</p>	<p>最新ニュースが知りたい</p> <p>S! 速報ニュースを使ってみましょう。さまざまなニュースの閲覧ができます。</p> <p>P.10-5</p>

本書の見かた

- 本書は「SoftBank 940N」の取扱説明書です。
- 本書では、「SoftBank 940N」を「本機」と表記しています。
- 本書では、「microSD™メモ리카ード (microSDHC™メモ리카ード含む)」を「メモ리카ード」と表記しています。
- 本書で掲載している待受画面は、本体色「アイランドブルー」のお買い上げ時の待受画像を例に掲載しています。また、メインメニューや操作手順などの画面デザインも、お買い上げ時の状態を例に掲載しています。

● タイトル

このページで説明している機能の名前です。

● 機能別アイコン表示

本書をバラバラめくっても、探している章がわかりやすいように各章のタイトル帯上にアイコン表記しています。

● インデックス

探したい機能をすぐに見つけることができます。

● 操作手順

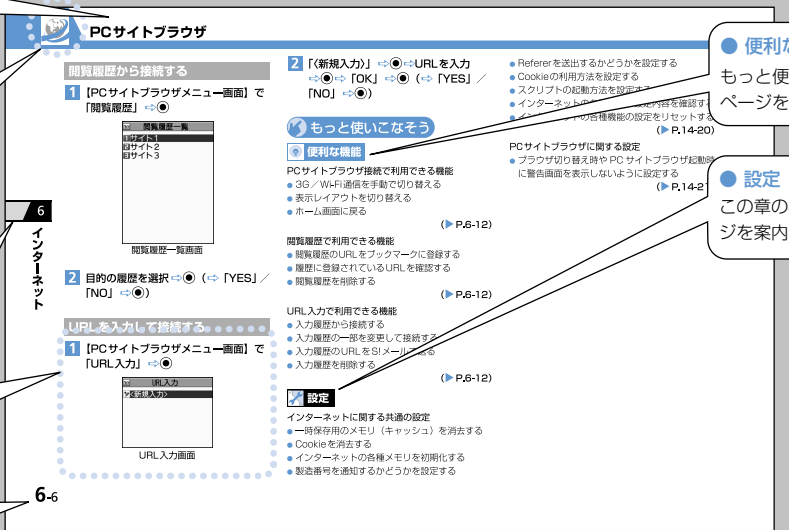
それぞれの操作手順を画面にそって説明しています。

● ページ番号

目次や索引の番号を表示しています。

基本操作ページ

●各機能の基本操作を画面中心に、わかりやすく説明しています。



● 便利な機能

もっと便利な機能を記載したページを案内しています。

● 設定

この章の機能を設定するページを案内しています。

操作にあたっての注意事項

- 本書では、とくにことわりがないかぎり本機を開いた状態で、待受画面からの操作を中心に説明しています。

応用操作ページ (便利な機能)

●各機能の操作をボタン操作を中心に、簡単に説明しています。

便利な機能

インターネット接続に関する機能

この機能に関する説明が書かれているかを表記しています。

どんなときに利用できるかを表記しています。

インターネットに関する共通の設定

Refererを送信するかどうかを指定する

Cookiesの取得方法を指定する

スク립トの起動方法を指定する

インターネットの各種機能の設定内容を再確認する

インターネットの各種機能の設定をリセットする

Yahoo!ケータイに関する設定

検索欄

検索欄の文字入力

設定操作ページ (カスタマイズ)

●各機能をカスタマイズする設定操作を、表形式で説明しています。

インターネット設定

インターネットに関する共通の設定

Refererを送信するかどうかを指定する

Cookiesの取得方法を指定する

スク립トの起動方法を指定する

インターネットの各種機能の設定内容を再確認する

インターネットの各種機能の設定をリセットする

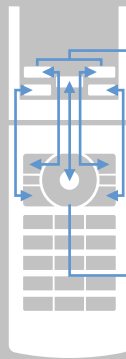
Yahoo!ケータイに関する設定

検索欄

検索欄の文字入力

ソフトボタン／マルチセクターボタンについて

画面下部に表示されている内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタンを押します。



ソフトボタンの表記について

本書では、ソフトボタンを押す操作を次のように表記しています。

- 左上ソフトボタン →
- 中央ソフトボタン →
- 右上ソフトボタン →
- 左下ソフトボタン →
- 右下ソフトボタン →

マルチセクターボタンの表記について

本書では、マルチセクターボタンを押す操作を次のように表記しています。

- 上を押す →
- 下を押す →
- 左を押す →
- 右を押す →
- 上または下を押す →
- 左または右を押す →
- 上下左右を押す →

画面表示について

本書で記載されているイラストや表示画面は、実際の形状や字体および表示や画面などと異なる場合があります。また周囲の明るさなどにより、実際の画面の階調と明るさが異なる場合があります。

目次

本書の構成.....	i
コンテンツ検索.....	ii
本書の見かた.....	iv
目次.....	vi
お買い上げ品の確認.....	viii
安全上のご注意.....	viii
お願いとご注意.....	xv
携帯電話機の比吸収率 (SAR) について.....	xix
知的財産権について.....	xxi
Safety Precautions.....	xxiv
General Notes.....	xxx1

1 準備／基礎知識

各部の名称.....	1-2
ディスプレイについて.....	1-7
USIMカードのお取り扱い.....	1-11
電池パックと充電器のお取り扱い.....	1-14
電源ON／OFF.....	1-18
マナーについて.....	1-20
暗証番号について.....	1-21
その他の基礎知識.....	1-22

2 共通操作

基本操作.....	2-2
マルチタスク.....	2-9
文字入力.....	2-11
電話帳.....	2-18
S!電話帳バックアップ.....	2-24

便利な機能.....	2-26
------------	------

3 電話

電話について.....	3-2
音声電話.....	3-3
TVコール.....	3-7
通話情報の確認.....	3-10
スピードダイヤル.....	3-12
海外での利用 (世界対応ケータイ)	3-13
オプションサービス.....	3-14
便利な機能.....	3-16

4 セキュリティ

PINコード設定.....	4-2
無断で利用されたくないとき.....	4-3
電話の発信信制限.....	4-6
秘密にしたいデータの設定.....	4-7

5 メール

メールについて.....	5-2
メール送信.....	5-6
メール受信／確認.....	5-10
メール管理／利用.....	5-14
便利な機能.....	5-20

6 インターネット

インターネットのしくみ.....	6-2
Yahoo!ケータイ.....	6-3
PCサイトブラウザ.....	6-5
画面操作.....	6-7
ブックマーク／画面メモ.....	6-10
便利な機能.....	6-12

7 カメラ

カメラについて.....	7-2
静止画撮影.....	7-6
動画撮影.....	7-8
いろいろな撮影.....	7-10
便利な機能.....	7-14

8 テレビ

テレビについて.....	8-2
テレビの視聴.....	8-5
番組の録画／再生.....	8-8
視聴／録画予約.....	8-10
便利な機能.....	8-12

9 音楽／S!アプリ

音楽について.....	9-2
音楽再生.....	9-5

S!アプリ	9-8
便利な機能	9-10

10 エンタテインメント

モバイルウィジェット	10-2
S!速報ニュース	10-5
S!情報チャンネル	10-6
電子ブック	10-8
便利な機能	10-9

11 ツール

おサイフケータイ®	11-2
S! GPSナビ	11-5
ライフヒストリービューア	11-7
スケジュール管理	11-9
To Doリスト	11-12
テキストメモ	11-14
音声メモ	11-15
電卓	11-16
アラーム	11-17
ウォーキングカウンター	11-19
バーコードリーダー	11-21
テキストリーダー	11-23
便利な機能	11-26

12 データ管理

データフォルダについて	12-2
ファイルの確認	12-3
ファイルの編集	12-9
ファイルやフォルダの管理	12-11
メモカードについて	12-12
メモカードの管理	12-13
便利な機能	12-16

13 通信

赤外線通信	13-2
Bluetooth®	13-5
パソコン接続	13-9
Wi-Fi	13-11
便利な機能	13-16

14 カスタマイズ

時計／画面／音の設定	14-2
電話帳／電話の設定	14-12
メール設定	14-16
インターネット設定	14-20
テレビ設定	14-22
カメラ設定	14-24
プレーヤー／S!アプリ設定	14-25
エンタテインメント設定	14-27
その他の設定	14-29

15 資料／付録

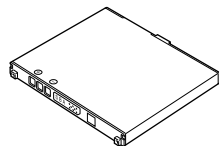
マルチタスクの組み合わせ	15-2
ソフトウェア更新	15-4
故障かな?と思ったら	15-6
ダイヤルボタン割り当て一覧	15-11
区点コード一覧	15-14
お天気アイコン一覧	15-20
メニュー一覧	15-21
仕様	15-40
索引	15-45
保証書／アフターサービス	15-58
お問い合わせ先一覧	15-59

ご使用にあたって

お買い上げ品の確認

SoftBank 940N本体のほかに、次の付属品がそろっていることを確かめください。オプション品としても取り扱いしております。
付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（P.15-59）までご連絡ください。

■電池パック（NEBAL1）



■使い方ガイド ■保証書（本体）




SoftBank 940Nは、microSD™メモリーカード（microSDHC™メモリーカード含む）に対応しております。ご利用にあたっては、市販のメモリーカードをご購入ください。
本機の充電には、ソフトバンクが指定したACアダプタを使用してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■表示の説明

- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} のみの発生が想定される」内容です。







※1 重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こ

すやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

- ※2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- ※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。



■絵表示の説明




- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。




- 本機・電池パック・USIMカード・ACアダプタ（オプション品）・卓上ホルダー（オプション品）・メモリカード（オプション品）・ステレオイヤホン変換ケーブル（オプション品）の取り扱いについて（共通）



⚠ 危険







 指示	本機に使用する電池パック・ACアダプタ・卓上ホルダーは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
	指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、ACアダプタの発熱・発火・故障などの原因となります。
 分解禁止	分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。 火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。 本機の改造は電法違反となり、罰則の対象となります。

 水濡れ禁止	濡らさないでください。 水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。
 禁止	高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。 機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。
 禁止	本機に電池パックを取り付けたり、ACアダプタ・ステレオイヤホン変換ケーブルを接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。 電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。





⚠ 警告


 禁止	本機・電池パック・ACアダプタ・卓上ホルダー・ステレオイヤホン変換ケーブルを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。 電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・ACアダプタ・卓上ホルダーの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。
 指示	プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。 ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください（ICカードロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください）。
 禁止	落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。 電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

 指示	使用中・充電中・保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。 1. コンセントからACアダプタを持ってプラグを抜いてください。 2. 本機の電源を切ってください。 3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。 異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
 禁止	充電端子や外部接続端子、メモ리카ードスロットに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。 ショートによる火災や故障などの原因となります。


 注意	
 禁止	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落下して、けがや故障などの原因となります。パイプレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。
 指示	乳幼児の手の届かない場所に保管してください。 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
 指示	子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかご注意ください。 けがなどの原因となります。
 禁止	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。 故障の原因となります。
 指示	本機を開くときに、ヒンジ部（可動部）の周辺に指を挟まないようにご注意ください。 けがなどの原因となります。


■ 電池パックの取り扱いについて


 危険					
● 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。					
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">表示</th> <th style="width: 50%;">電池の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">Li-ion00</td> <td style="text-align: center;">リチウムイオン電池</td> </tr> </tbody> </table>	表示	電池の種類	Li-ion00	リチウムイオン電池	
表示	電池の種類				
Li-ion00	リチウムイオン電池				
 禁止	火の中に投下しないでください。 電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。				
 禁止	釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。 電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。				
 禁止	電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。 電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。				


 指示	電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。失明などの原因となります。
---	---


警告


 指示	電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。 皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。
---	---

 指示	所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。 電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
---	---


 指示	電池パックの使用・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。 異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
---	---

 指示	電池パックが漏液したり、異臭がするときは、ただちに使用をやめて火気から遠ざけてください。 漏液した液体に引火し、発火や破裂の原因となります。
---	---

 禁止	落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、ただちに使用をやめてください。 電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。
---	--




 指示	ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。 電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。
---	--






注意




 禁止	不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。 端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。 電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。
---	--

■ 本機の取り扱いについて





警告





 禁止	自動車・バイク・自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。 交通事故の原因となります。 乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。 運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。
 指示	高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。 電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。 ※ ご注意ください。電子機器の例 補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など
 指示	本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。 航空機の安全に支障をきたす恐れがあります。 航空機内で携帯電話の電源を入れると、罰則の対象となる場合があります。 機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の乗務員の指示に従い適切にご使用ください。



 指示	<p>心臓の弱い方は、着信時のバイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。</p> <p>心臓に影響を与える恐れがあります。</p>
 指示	<p>屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って屋内などの安全な場所へ移動してください。</p> <p>落雷や感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。</p> <p>目に影響を与える可能性があります。</p>
 禁止	<p>医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。</p> <p>本機を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。</p>
 指示	<p>イヤホンマイクを本機に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。</p> <p>音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。</p>

 禁止	<p>エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所に本機を置かないでください。</p> <p>エアバッグが展開した場合、本機が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。</p>
 指示	<p>万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本機の内部にご注意ください。</p> <p>ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。</p>
 禁止	<p>本機内のUSIMカード挿入口やメモリアドスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。</p> <p>火災・感電・故障の原因となります。</p>



⚠ 注意

 指示	<p>本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。</p> <p>本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（使用材料⇒P.15-41）。</p>
 禁止	<p>磁気カードなどを本機に近づけたり、挟んだりしないでください。</p> <p>キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。</p>
 禁止	<p>ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。</p> <p>ストラップが切れたりして、本人や他の人に当たったり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。</p>
 指示	<p>本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。</p> <p>長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。</p>






 禁止	着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているとき、ハンズフリーでの通話中などは、スピーカーに耳を近づけないでください。 難聴になる可能性があります。
 指示	本機を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。 けがなどの事故や破損の原因となります。
 指示	デジタルテレビを視聴するときは、充分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。 視力低下につながる可能性があります。
 指示	イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。 長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

 禁止	誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。 液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診断を受けてください。 失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
 禁止	本機に磁気を帯びたものを近づけないでください。 強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。







■ USIMカードの取り扱いについて



 注意	
 指示	USIMカード(IC部分)を取り外す際は切断面にご注意ください。 手や指を傷つける可能性があります。

■ ACアダプタ・卓上ホルダーの取り扱いについて




 警告	
 禁止	充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。 熱がこもって火災や故障などの原因となります。
 禁止	指定以外の電源・電圧で使用しないでください。 指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。 ACアダプタ：AC100V～240V(家庭用ACコンセント専用) また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
 電源プラグを抜く	長時間使用しない場合は、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜いてください。 感電・火災・故障の原因となります。
 電源プラグを抜く	万が一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタを持ってコンセントからプラグを抜いてください。 感電・発煙・火災の原因となります。




ご使用にあたって

 指示	<p>プラグにほこりがついたときは、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。</p> <p>火災の原因となります。</p>
 指示	<p>ACアダプタをコンセントに差し込むときは、卓上ホルダーの端子およびACアダプタのプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。</p> <p>感電・ショート・火災などの原因となります。</p>
 濡れ手禁止	<p>濡れた手でACアダプタのプラグを抜き差ししないでください。</p> <p>感電や故障などの原因となります。</p>
 禁止	<p>雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。</p> <p>感電などの原因となります。</p>
 指示	<p>ACアダプタのコードが傷んだら使用しないでください。</p> <p>感電・発熱・火災の原因となります。</p>
 禁止	<p>ACアダプタや卓上ホルダーは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。</p> <p>感電の原因となります。</p>

 禁止	<p>コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。</p> <p>火災・故障・感電・傷害の原因となります。</p>
 禁止	<p>ACアダプタのコードの上に重いものをのせたりしないでください。</p> <p>感電や火災の原因となります。</p>

⚠ 注意



 禁止	<p>ACアダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。</p> <p>けがや故障の原因となります。</p>
 電源プラグを抜く	<p>お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。</p> <p>感電などの原因となります。</p>
 指示	<p>ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。</p> <p>コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。</p>

 禁止	<p>濡れた電池パックを充電しないでください。</p> <p>電池パックを発熱・発火・破裂させる原因となります。</p>
 電源プラグを抜く	<p>充電終了後は、コンセントからプラグを抜いてください。</p> <p>火災や故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>通電中は卓上ホルダーの充電端子に長時間触れないでください。</p> <p>低温やけどになる恐れがあります。</p>

■ 医用電気機器近くでの取り扱いについて

- ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会〔平成9年4月〕）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人 電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

警告

 指示	<p>植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。</p> <p>電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。</p>
 指示	<p>自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。</p> <p>電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。</p>



指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- ・ 手術室・集中治療室（ICU）・冠動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- ・ 病棟内では、本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
- ・ ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- ・ 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



指示

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 本機は電波を使用しているため、電波の弱いところ、およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、サービスエリア内であっても、ビル影・ビル内・トンネル・地下・山間部など、電波の弱いところ、電波の届かないところでは、ご使用になれません。また、通話中やデジタルテレビ視聴中にこのような場所へ移動する場合、通話やデジタルテレビ映像が途切れる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 公共の場でご利用いただくときは、周囲の方の迷惑にならないように注意してください。
- 歩行中に着信した場合は、周囲の状況を確認し、安全な場所へ移動してからご使用ください。
- 事故や故障などにより本機／メモリーカードに登録したデータ（電話帳、画像、サウンドなど）が消失、変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

ご使用にあたって

- 傍受にご注意ください。本機はデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。
 - ＜傍受（ぼうじゆ）とは＞
無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- ストラップなどを挟んだまま、本機を折り畳まないでください。故障や破損の原因となります。
- 電車などの交通機関で使用した場合、まれに電車などに搭載されている電子機器に影響を与えることがありますのご注意ください。
- 次のような場所は、電話がつかなくなったり雑音が入ることがあります。
 - ・ 製氷倉庫など特に温度が下がる場所に置かないでください。正常に動作しないことがあります。
 - ・ 金属製家具などの近くに置かないでください。電波が飛びにくくなります。
 - ・ 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところ、磁波が発生しているところに置かないでください。（コンピュータ・電子レンジ・スピーカー・テレビ・ラジオ・ファクシミリ・蛍光灯・ワープロ・電気こたつ・インバーターエアコン・電磁調理器など。）
- 落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、故障取扱窓口までご相談ください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかつたときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気・ほこり・振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。故障の原因となります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 本機のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない使用周波数13.56MHz帯の微弱電波を使用しています。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 強い磁力を近づけないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかかりたりしないでください。傷つくことが故障や破損の原因となります。

自動車内でのご利用にあたって

- 自動車などを運転中に使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因となります。法令によって定められている禁止行為をした場合は罰せられることがあります。
- 車を安全な場所に停車させてからご使用ください。
- 自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあるため、自動車内で使用する際は、十分な対電磁波保護が

されているか、自動車販売店にご確認ください。安全走行を損なう原因となります。

お取り扱いについて

- 水をかけないでください。本機・電池パック・ACアダプタ・卓上ホルダー・ステレオイヤホン変換ケーブル・USIMカードは防水仕様にはなっておりません。雨のあたる所や風呂場など、湿気の多い所での使用はおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。これらの水濡れによる故障や微損した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。本機のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意ください。お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。アルコール・シンナー・ベンジン・洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本機や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。多くのが詰まった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて荷つたりすると、ディスプレイ・内部基板・電池パックなどの破損や故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損や故障の原因となります。
- 使用中・充電中、本機は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。素子の退色や焼付きを起こす場合があります。
- ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。故障の原因となります。
- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので注意してください。なお、こうした消失や変化に起因する損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 電池パックは、電池残量なしの状態での保管や放置をしないでください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 通常は外部接続端子キャップ、メモリアダプタのキャップをはめた状態でご使用ください。ほこりや水などが入り故障の原因となります。
- ステレオイヤホン変換ケーブルやACアダプタを外部接続端子から抜く場合は、コードを引っ張ら

ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると断線や故障の原因となります。

- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 極端な高温や低温は避けてください。温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。本機を極端に高温な場所に放置すると、自動的に電源が切れる場合があります。
- 電池パックは消耗品です。使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- FeliCaリーダー/ライター機能は日本国内で使用してください。本機のFeliCaリーダー/ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ICカード認証機能は日本国内で使用してください。本機のICカード認証機能は日本国内での無線規格に準拠して取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- USIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本機に取り付けしないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。故障や破損の原因となります。
- 電池カバーを外したまま使用しないでください。電池パックが外れたり、故障や破損の原因となります。

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不法行為等を行った場合、法律、条令（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

Bluetooth® について

- Bluetooth® 機能は日本国内で使用してください。本機のBluetooth® 機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 本機は、Bluetooth® を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth® を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth® を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

2.4	FH	1
: : :		

- (1) 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- (2) FH : 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- (3) 1 : 想定される干渉距離が10m以下であることを示します。

ご使用にあたって

(4)  :

2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

- Bluetooth®搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

・万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、使用場所を変えるか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

・そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクモバイルお客さまセンター
ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
（一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先」(P.15-59)を参照してください。)

無線LANについて

● 無線LAN機能は日本国内で使用してください。本機の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

● 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。

・テレビ・ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について
無線LAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



(1) 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

(2) DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。

(3) OF : 変調方式がOFDM方式であることを示します。

(4) 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

(5)  :

2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 2.4GHz機器使用上の注意事項

無線LAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクモバイルお客さまセンター
ソフトバンク携帯電話から 157（無料）
（一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先」(P.15-59)を参照してください。)

・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記目的を超えて、権利者の了承なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、著作物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作権人権的侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。

本機を使用して複製などを行う場合は、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本機にはカメラ機能が搭載されておりますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なお使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作人人格などをはじめとする著作権等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等を行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

機能制限について

本機を機種変更・解約・長期間使用しなかった場合はテレビの機能が利用できなくなります。

注意

改造された本機は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク」が本機の銘版シールに表示されております。本機のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種（940N）の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが 2W/kg の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

この携帯電話機（940N）のSARは、 0.541W/kg です。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

ご使用にあたって

社団法人電波産業会のホームページ
<http://www.arib-emf.org/>

「ソフトバンクのボディ SAR ポリシー」について

*ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時の比吸収率（SAR）のことです。

**比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。

***身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルのホームページからも内容をご確認いただけます。
<http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html>

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定

められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は0.355W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機940Nでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) のホームページ
<http://www.phonefacts.net>（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機（940N）は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR : Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合の

SARの最高値は0.321W/kgです。SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
<http://www.who.int/emf>（英文のみ）

※ 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

知的財産権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでご注意ください。
- モバイルウィジェット、S! アプリ、TV コール、S! 情報チャンネル、S! 電話帳バックアップ、S! メール、PCメール、S! 速報ニュース、S! GPS ナビ、位置ナビ、デコレメール、PCサイトブラウザ、生活アプリ、安心速隔ロック、お天気アイコン、選べるかんたん、S-1バトル、コンテンツ得バック、ナビアプリ、かんたんミュージックは、ソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!|Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- おサイフケータイ®は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- T9®はNuance Communications, Inc.および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。
- microSD™ロゴおよびmicroSDHC™ロゴは、商標です。

- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WMM™、WPA™、WPA2™ およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - ・ MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
 - ・ 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
 - ・ MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™およびAdobe® Reader® 技術を搭載しています。
本製品はAdobe Systems Incorporatedからライセンスを受けたAdobe® Flash® Lite™およびAdobe® Reader®を搭載しています。
Adobe Flash Lite : Copyright© 1996-2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Adobe Reader : Copyright© 1984-2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
Adobe、Reader、FlashおよびFlash LiteはAdobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- Java およびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「着うた®」「着うたフル®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- 「待ちうた™」は、KDDI株式会社の商標です。



ご使用にあたって

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Mobile Client Suiteを搭載しています。ACCESS、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。Copyright © 2008 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、文書閲覧機能として株式会社ACCESSのNetFront Document Viewerを搭載しています。ACCESS、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのIrFront を搭載しています。©2008 ACCESS CO., LTD. All right reserved. ACCESS、IrFrontは、株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Incの登録商標で、日本電気株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「マルチタスク/Multitask」「感情お知らせメール」「プライバシーアングル」「ライフレビューア」「クイックインフォ」「デスクトップインフォ」「クイックアルバム」「ワード予測」「ともでん」「ともまとめるBOX」「FontAvenue」




IrFront



「イルミネーション・ウィンドウ」は、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

- Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ MASCOT CAPSULE®は、株式会社エイチアイの登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- IrSimple™、IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- ハイパークリアボイスはSRS Labs, Inc. よりライセンスされたSRS VIP+技術に基づき製品化されています。SRS、VIP+、および  記号はSRS Labs, Inc. の商標です。
- TruMedia と Dialog SRS Dialog Clarity SRS TruMedia 5.1 Dialog Clarity TruMedia 5.1 SRS Dialog Clarity SRS TruMedia 5.1 はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。TruMedia、Dialog Clarity、SRSと  記号は、SRS Labs, Inc. の商標です。
- 本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、<http://www.n-keitai.com/guide/download/> の「GPL・LGPL等について」をご覧ください。



- フレーム補間機能には株式会社モルフォのFrameSolid™を採用しております。FrameSolid™は、株式会社モルフォの商標です。
- PhotoSolid®、MovieSolid®、QuickPanorama™およびロゴマークは、株式会社モルフォの日本またはその他の国における登録商標または商標です。
- 画像高速表示技術には株式会社モルフォのImageSurf™を採用しております。ImageSurf™は株式会社モルフォの商標です。
- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
- BookSurfingは株式会社セルシス、株式会社ボイジャー、株式会社インフォシティの登録商標です。
-  はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「Edy (エディ)」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Microsoft、PowerPoint、Excel、Windows、Windows MediaおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - ・ Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
 - ・ Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
 - ・ Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- 本製品は、抗菌加工を施しております。抗菌対象箇所は、携帯電話ボディ（ディスプレイ、各種ボタン、端子部除く）無機抗菌剤・塗装・JP0122112A0003N SIAA マークは、ISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。
- AOSS™は、株式会社パッファローの商標です。
- ©T2i Entertainment
- ©MTI
- ©2009 Konami Sports & Life
- ©Kakaku.com, Inc.
- ©Culture Convenience Club Co.,Ltd.
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。






Safety Precautions

Safety Precautions

- To ensure proper use of your handset, read these safety precautions carefully before use. Keep this guide for future reference.
- Observe these safety precautions to prevent injuries and damages to property.
- SoftBank accepts no liability for any loss or damages incurred by you or a third party as a result of missed calls, etc., due to malfunction, erroneous operation or failure of this product.

Labels

- Risks of injury or damage from improper use are categorized by levels. Understand these labels before reading this guide.

 DANGER	Great risk of death or serious injury ¹ from improper use
 WARNING	Risk of death or serious injury ¹ from improper use
 CAUTION	Risk of injury ² or damage to property ³ from improper use

- 1 Serious injury includes: Loss of eyesight, physical injury, high temperature burns, low temperature burns (blisters or reddening caused by prolonged contact with a heat source higher than body temperature), electric shock, fractures, poisoning and other

conditions requiring hospitalization or long-term treatment.

- 2 Injury includes: Physical burns (high-temperature and low-temperature), electric shock, and other conditions not requiring hospitalization or long-term treatment.
- 3 Damage to property includes: Incidental damage to structures and household property and/or to pets and livestock.

Symbols

- Make sure you understand the following symbols and precautions before reading this guide.

	Action is prohibited.
	Disassembly is prohibited.
	Exposure to liquids is prohibited.
	Handling with wet hands is prohibited.
	Action is compulsory.
	Unplug power cord.

- **Handset, Battery, USIM Card, AC Charger (Sold Separately), Desktop Holder (Sold Separately), Memory Card (Not Included), and Stereo Earphone Conversion Cable (Sold Separately)**

DANGER



Use SoftBank specified devices (Battery, AC Charger or Desktop Holder) only.

Use of non-specified devices may cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite; or may cause Charger to overheat, ignite or malfunction.





Do not disassemble/modify/solder handset.





May cause fire, injury, electric shock or malfunction. Also, Battery may leak, overheat, rupture or ignite. Modification of handset equipment violates statutory regulations and is subject to penalty.







Keep liquids away from handset.





If handset and/or battery is not dried after exposure to fluids (water, pet urine etc.), overheating, electric shock, fire, malfunction, etc. may occur.

	<p>Do not charge, use or leave handset in places subject to high temperatures (near an open flame or heating equipment, in direct sunlight or inside a car on a hot day).</p> <p>May cause deformation or malfunction; or may cause Battery to leak, overheat, ignite or rupture. Also, the outer housing may become hot resulting in burns.</p>
	<p>Do not use excessive force to attach Battery, AC Charger or Stereo Earphone Conversion Cable to handset. Battery or AC Charger may be the wrong way around.</p> <p>Battery may leak, overheat, rupture or ignite.</p>

 WARNING	
	<p>Do not place handset, Battery, AC Charger, Desktop Holder or Stereo Earphone Conversion Cable in a microwave oven or pressure cooker, or on top of an induction heating (IH) cooktop.</p> <p>May cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite; or may cause handset, AC Charger or Desktop Holder to overheat, emit smoke, ignite or malfunction.</p>
	<p>Turn off handset when entering gas stations or other places where flammable gases (propane gas, gasoline, etc.) generate. Do not charge battery in such places.</p> <p>Gases may ignite. Before using Osaifu-Keitai® inside a gas station, be sure to turn handset off (deactivate IC card lock beforehand).</p>
	<p>Do not drop or throw handset or expose it to excessive shock.</p> <p>May cause battery to leak, overheat, rupture or ignite; or may cause fire, electric shock or malfunction.</p>

	<p>If you notice an unusual sound, odor, smoke, etc. while using, charging or storing handset, immediately:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Unplug AC Charger from outlet. 2. Turn handset power off. 3. Remove Battery from handset, being careful of burn or injury. Continued use may cause fire or electric shock.
	<p>Keep liquids (water, pet urine, etc.) and conductive materials (e.g. pencil lead, metal fragments, metal necklaces, hairpins, etc.) away from Charger Terminals, External Device Port or Memory Card Slot.</p> <p>May cause short circuit, resulting in fire or malfunction.</p>
 CAUTION	
	<p>Do not place handset on an uneven or unstable surface.</p> <p>Handset may fall, leading to injuries or handset malfunction. Be particularly careful while charging or when vibrator is activated.</p>

Safety Precautions




	Keep handset out of reach of infants. Failing to do so may result in small parts being accidentally swallowed or may cause injury.
	When a child uses handset, parent supervision is advised. Provide child with proper instructions. Failing to do so may cause injury, etc.
	Do not store handset in humid or dusty places or in places subject to high temperatures. May cause malfunction.
	Be careful not to pinch your fingers in the hinge when opening handset. Failing to do so may cause injury.


■ Handling Battery

DANGER




- **Check battery type on Battery label. Properly use and dispose of Battery according to type.**


Label	Battery type
Li-ion00	Lithium-ion

	Do not throw Battery into a fire. May cause Battery to leak, rupture or ignite.
	Do not puncture Battery with a nail, hit it with a hammer, step on it or subject it to strong impact. May cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite.
	Keep metal objects (pins, etc.) away from Battery Terminals. Do not carry or store conductive materials (e.g. pencil lead, metal fragments, metal necklaces, hairpins, etc.) together with Battery. May cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite.

	If battery fluid gets into eyes, immediately rinse with clean water and consult a doctor. Do not rub eyes. Failing to do so may result in loss of eyesight.
---	---

WARNING

	If battery fluid gets on your skin or clothing, immediately stop handset use and rinse with clean water. Battery fluid may harm your skin.
	If Battery is not fully charged even after specified charging time, stop charging. Battery may leak, overheat, rupture or ignite.
	If you notice an unusual odor, overheating, discoloration, deformation, etc. while using, charging or storing Battery, remove it from handset and keep it away from fire. Be careful not to burn or injure yourself. Battery may leak, overheat, rupture or ignite.

	<p>If Battery leaks or emits an unusual odor, immediately stop using it and keep it away from fire.</p> <p>Battery fluid is flammable and could ignite, causing fire or Battery to rupture.</p>
	<p>If any abnormalities (deformation, scratches, etc.) are visible on Battery, immediately discontinue use.</p> <p>May cause Battery to leak, overheat, rupture, ignite; may cause handset malfunction or fire.</p>
	<p>Do not allow pets to bite Battery.</p> <p>May cause Battery to leak, overheat, rupture, ignite; may cause handset malfunction or fire.</p>






CAUTION

	<p>Do not dispose of batteries as municipal waste.</p> <p>Bring used batteries to the nearest SoftBank Shop or recycling center after insulating the terminals with tape. Be sure to observe local regulations on battery disposal.</p>
---	--

■ Handling Handset

WARNING





	<p>Do not use while operating a vehicle (car, motorcycle, bicycle, etc.)</p> <p>May cause a traffic accident. Use of a mobile phone while driving is prohibited by law, and is subject to penalty. Stop vehicle in a safe location (where parking is allowed) before using handset.</p>
	<p>Keep handset power off near high precision electronic devices or devices using weak signals.</p> <p>Handset may cause these devices to malfunction. Devices that may be affected: Hearing aids, implanted cardiac pacemakers, implanted defibrillators and other electronic medical equipment; fire alarms, automatic doors and other automatic control devices.</p>
	<p>Keep handset power off aboard an aircraft.</p> <p>Handset signal may interfere with aircraft operation. Handset use aboard an aircraft may be subject to penalty. When in-flight use is permitted, observe airline instructions.</p>

	<p>If you have a weak heart, be careful with incoming call vibrator and ringtone volume settings.</p> <p>These may affect your heart.</p>
	<p>If thunder is heard while outside, immediately turn handset power off and seek shelter.</p> <p>Failing to do so may attract lightning and cause electric shock.</p>
	<p>Do not point infrared beam at a person's eyes.</p> <p>May cause eye injury.</p>
	<p>If you use electronic medical equipment, do not place or use handset near the equipment.</p> <p>Using handset near electronic medical equipment may cause the equipment to malfunction.</p>
	<p>When using Earphone-Microphone while playing games or music, adjust volume accordingly.</p> <p>Sound at high volume may impair hearing; or surrounding sounds may become inaudible over playback volume, resulting in an accident.</p>

Safety Precautions

	Do not place handset on the dashboard near airbags. In case of airbag inflation, handset may hit passengers resulting in injury, malfunction or breakage.
	If Display or Camera Lens is damaged, be careful of broken glass pieces or exposed internal components. Shatter-proof film prevents Display and Camera lens from shattering; however glass fragments and components may cause injury.
	Do not allow fluids, metal pieces or flammable materials to enter USIM Card Slot or Memory Card Slot. May cause fire, electric shock or malfunction.
 CAUTION	
	If skin abnormality occurs with use of handset, immediately discontinue use and consult a doctor. Handset contains metals. Depending on your physical condition, you may experience itchiness, rash, etc.

	Keep magnetic cards away from handset and make sure that a magnetic card is not trapped when closing handset. Failing to do so may cause magnetic data on a cash card, credit card, telephone card or floppy disk to be lost.
	Do not swing handset by its strap, etc. Handset may strike you or other people; Strap may break causing injury, handset malfunction or breakage.
	Use caution when using handset for an extended period; handset may become hot. Skin contact for extended period may cause low-temperature burns.
	Do not bring speaker close to the ear when making calls in handsfree mode or when ring tone/melody is playing. May impair your hearing.
	Be careful not to pinch your fingers or Strap when opening or closing handset. May cause injury or damage.

	Watch TV with adequate lighting and distance from Display. Failing to do so may impair eyesight.
	Do not turn volume up too high when using earphones. Using earphones for extended periods at high volume may impair hearing or harm your ears.
	If Display breaks, do not inhale or touch liquid crystal fluid. If fluid enters your eyes or mouth, immediately rinse with clean water and consult a doctor. If fluid adheres to your skin or clothing, immediately wipe off with alcohol and wash with soap and water. May result in loss of eyesight or skin damage.
	Keep magnetized objects away from handset. May cause operation errors.

■ Handling USIM Card

CAUTION



Be careful handling the Notch when removing USIM Card.
May injure your hands or fingers.

■ Handling AC Charger and Desktop Holder

WARNING



Do not cover with clothing or bedding during charging.
Heat may build up resulting in fire or malfunction.



Use the specified power supply and voltage.
Failing to do so may cause fire or malfunction.
AC Charger: 100 to 240 V AC (for household AC outlets only)
Also, do not use commercially available voltage converters. May cause fire, electric shock or malfunction.



Unplug AC Charger from outlet before extended periods of handset disuse.
Failing to do so may cause electric shock, fire or malfunction.



If liquid (water, pet urine, etc.) gets into AC Charger, immediately unplug AC Charger from outlet.
Failing to do so may cause electric shock, smoke emission or fire.



If dust accumulates on AC Charger plug, unplug Charger from outlet and wipe with a dry cloth.
Failing to do so may cause fire.



When plugging AC Charger into outlet, keep conductive materials (pencil lead, metal parts, necklaces, hair pins, etc.) away from Desktop Holder terminals, AC Charger plug/terminals and plug Charger firmly into outlet.
Failing to do so may cause electric shock, short circuit, fire, etc.



Do not touch AC Charger with wet hands.
May cause electric shock or malfunction.



If thunder is heard, do not touch AC Charger.
May cause electric shock.



Do not use AC Charger if the cord is damaged.
May cause electric shock, overheating or fire.



Do not use AC Charger and Desktop Holder in humid places such as in bathrooms.
May cause electric shock.



Do not short-circuit Charger Terminals when Charger is plugged into an outlet. Do not touch Charger Terminals with your fingers, etc.
May cause fire, malfunction, electric shock or injury.








Do not place heavy objects on the cord of AC Charger.
May cause electric shock or fire.

CAUTION



When AC Charger is connected to an outlet, do not pull on cord or otherwise subject Charger to strong shock.
May cause injury or malfunction.

Safety Precautions

	Firmly hold plug and unplug AC Charger from outlet before cleaning. Failing to do so may cause electric shock.
	Do not unplug AC Charger by pulling the cord. Firmly hold plug and unplug AC Charger. Pulling the cord may damage the cord resulting in electric shock or fire.
	Do not charge a wet battery. May cause battery to overheat, ignite or rupture.
	Unplug Charger from outlet when charging is complete. Failing to do so may cause fire or malfunction.
	Do not touch Charger Terminals of Desktop Holder when plugged into an AC outlet. May cause low-temperature burns.

Near Electronic Medical Equipment

- This section is based on "Guidelines on Safeguarding Medical Equipment from Electromagnetic Waves from Mobile Phones and Other Devices" (Electromagnetic Compatibility Conference Japan, April 1997), and "Research Report on the Influence of Electromagnetic Waves on Medical Equipment" (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

WARNING



If you use an implanted cardiac pacemaker or implanted defibrillator, carry and use handset at a distance of at least 22 centimeters away from the implanted area.

Radio waves may interfere with the operation of implanted cardiac pacemakers or implanted defibrillators.



When using electronic medical equipment other than implanted cardiac pacemakers/defibrillators outside of medical institutions, consult device manufacturer about the influence of radio waves.

Radio waves may interfere with the operation of electronic medical equipment.



Observe the following in medical institutions. Radio waves from handset may affect electronic medical equipment.

- Do not bring mobile phones into an operating room, ICU (Intensive Care Unit) or CCU (Coronary Care Unit).
- Turn off mobile phones in hospital wards. Disable auto power-on functions (alarm, etc.) before turning off mobile phones.
- Turn off mobile phones even in lobbies or areas where use is permitted if there is electronic medical equipment nearby.
- Observe the instructions of individual medical institutions and do not use or bring mobile phones into prohibited areas.



Keep handset power off in crowded places such as rush hour trains; a person with an implanted cardiac pacemaker or implanted defibrillator may be nearby. Disable auto power-on functions (alarm, etc.) before turning off mobile phones.

Radio waves may interfere with the operation of implanted cardiac pacemakers or implanted defibrillators.

General Notes

Usage Basics

- Handset use may be disrupted when outside the service area or where signals are weak. Calls/TV image may be suddenly cut off when moving to a place with poor signal reception (e.g. inside/next to a tall building, in a tunnel, underground or in mountainous areas).
- Take care not to disturb other people when using handset in public places.
- If you receive a call while walking, move to a safe place before answering.
- SoftBank accepts no liability for any damages arising from loss or alteration of data (Phone Book, image/sound files, etc.) stored on your handset or memory card as a result of accident or malfunction. Back up important data such as Phone Book entries.
- Handset is a wireless station under Japanese Radio Law. You may be requested to submit your handset for inspection based on this law.
- Using handset near a landline phone, TV or radio may affect the operation of these devices. Use handset as far away as possible from these devices.
- Be aware of eavesdropping. Handset employs a digital signal that provides a high level of privacy protection. However, the possibility of eavesdropping by a third party using special means cannot be ruled out.
<Eavesdropping>
Interception of radio signals by a third party during communication, either intentionally or accidentally
- Do not trap Strap or other objects when opening and closing handset. Doing so may cause malfunction or damage handset.
- Using handset on trains or other public transportation may affect their electronic devices.
- A call may not be connected or you may hear noises:
 - In an extremely cold place (e.g. freezer storehouse) where handset may not operate normally
 - Near metal furniture which may interfere with signal transmission
 - Near electromagnetic sources or magnetized items, including electric products, audio-visual equipment and office appliances (e.g. computer, microwave oven, speaker, TV set, radio, fax machine, fluorescent lamp, word processor, electric kotatsu, inverter-driven air conditioner, electromagnetic cooker)
- If Battery appears deformed or scratched from external impact, contact Customer Assistance.
- When using handset for the first time or after an extended period of disuse, charge Battery beforehand.
- Battery operating time varies by the usage environment and Battery condition.
- Do not charge Battery:
 - In a humid/dusty place or near sources of vibration
 - Near a landline phone, TV or radio
- Although AC Charger may become warm while charging, it is not a malfunction.

Safety Precautions

- Do not subject handset to excessive shock. Do not deform Charger Terminals. Doing so may cause malfunction.
- When Battery life nears its end, it may expand slightly. This is not a malfunction.
- FeliCa reader/writer uses the unlicensed 13.56 MHz frequency. Maintain sufficient distance between other reader/writers in use nearby. Make sure mobile phones or other wireless stations operating at the same frequency are not nearby.
- Keep handset away from strong magnetic force. May cause malfunction.
- Do not scratch Display with metal objects, etc. Doing so may damage Display resulting in malfunction or breakage.

Inside Cars

- Do not use handset while driving. Doing so may compromise safe driving and cause an accident. Handset operation in a car may be punishable by law.
- Before using handset, stop the car in a safe place.
- Handset use may affect electronics in some car models. Confirm with your car dealer whether sufficient magnetic protection measures are implemented in your car. Failing to do so may compromise safe driving.

Handling

- Keep away from liquids and moisture. Handset, Battery, AC Charger, Desktop Holder, Stereo Earphone Conversion Cable and USIM Card are not waterproof. Do not use these devices in the rain or in other humid places (e.g. bathrooms). When carrying handset near your body (pockets, etc.), moisture from sweat may corrode internal parts and cause malfunction. Damage caused by exposure to liquids or moisture is not covered by the warranty and may be irreparable.
- Handset's color LCD may be treated with special coating for enhanced visibility. To avoid scratching Display, clean handset carefully using a dry, soft cloth (e.g. eyeglass cloth). If moisture or soil is left on Display, the coating may stain or peel off. Do not use alcohol, thinner, benzene or detergent, as it may cause discoloration and remove printed logos.
- Clean Terminals with a dry cotton swab. Soiled Terminals may cause poor contact, resulting in insufficient charging or handset to turn off.
- Do not place handset near an air conditioner vent. Condensation may form due to abrupt temperature changes, leading to internal corrosion and malfunction.
- Do not apply excessive force to handset and Battery. Placing handset in an overpacked bag or sitting down with handset in your pocket may damage Display, Internal Circuit Board or Battery, and cause malfunction. Doing so with external device connected to External Device Port may damage connector, leading to malfunction.
- Although handset becomes warm during use or charging, it is not a malfunction.
- Do not leave the Camera Lens exposed to direct sunlight. Doing so may discolor or burn Optical Element.
- Do not affix thick stickers or labels to the Display or Keypad side. Doing so may result in malfunction.
- Do not leave Battery uninstalled or uncharged for an extended period of time; may alter or erase saved settings and data. SoftBank accepts no liability for any damages resulting from such loss or alteration.
- Do not store depleted Battery; may degrade performance and shorten Battery life.
- Keep the covers of External Device Port and Memory Card Slot closed. Dust or water inside handset may cause malfunction.
- When removing Stereo Earphone Conversion Cable or AC Charger from External Device Port, do not pull the cord, hold the connector. Pulling the cord may result in wire breakage or malfunction.
- If you use an outlet with pullout prevention feature, refer to the instruction manual of the outlet.
- Avoid extremely cold and high temperatures. Use handset at an ambient temperature of 5 to 35 °C, and humidity of 45 to 85 %. If handset is left in an extremely hot place, handset may power off automatically.

- Battery is a consumable item. Operating time varies by conditions of use; however when operation time becomes extremely short even after a full charge, purchase a new Battery. Use only specified battery.
- Charge Battery at an ambient temperature of 5 to 35 °C.
- FeliCa reader/writer complies with Japanese wireless standards. Usage while abroad may be subject to penalty.
- Handset's IC Card authentication complies with and has obtained certification for Japanese wireless standards. Usage while abroad may be subject to penalty.
- Do not insert USIM Card with labels or stickers affixed to it. May cause malfunction.
- When connecting an external device, do not insert connector into External Device Port at an angle. When external device is connected, do not pull the cord.
- Do not use handset without Battery Cover. Battery may dislodge and result in malfunction or breakage.

Camera

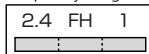
Creating public disturbances from using handset may be subject to penalties based on applicable laws and regulations (e.g. nuisance prevention ordinance by municipal governments).

Bluetooth®

- Handset's Bluetooth® function complies with and has obtained certification for Japanese

wireless standards. You may be subject to penalty if used abroad.

- Handset incorporates a security function compliant with Bluetooth® standards for security with Bluetooth® communication. However, security may be insufficient depending on such factors as settings. Care is required for communication using Bluetooth®.
- SoftBank accepts no liability for leak of data or information during communication using Bluetooth®.
- Frequency range



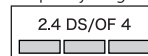
Bluetooth® device uses the 2.4 GHz frequency range. It employs the FH-SS modulation system, and has a maximum interference range of 10 m. It is not capable of avoiding the frequency range used by RFID systems.

- Bluetooth® devices share the same frequency band with; licensed in-house radio stations (in factory production lines), specific unlicensed low power radio stations, licensed amateur radio stations (hereafter, "other radio stations") and scientific, medical or industrial devices (including microwave ovens).
 - 1 Make sure no other radio stations are operating nearby.
 - 2 If handset interferes with an in-house radio station, immediately change the frequency of the Bluetooth® device, move to another place or cancel the Bluetooth® function, and contact SoftBank Mobile Customer Center (see below).

- 3 If interference with a low power radio station or amateur radio station occurs, contact SoftBank Mobile Customer Center. From a SoftBank handset: 157 (toll-free) From landlines: See P.15-59 for Customer Service.

Wireless LAN

- Handset's wireless LAN function complies with and has obtained certification for Japanese wireless standards. You may be subject to penalty if used abroad.
- Do not use near magnetic devices (e.g. electrical appliances, audio-visual devices, office equipment, etc.) or sources of electromagnetic waves.
 - May cause noise or prevent connection (especially when using a microwave oven).
 - May interfere with device reception (TV, radio, etc.) or affect TV picture.
 - Target LAN access point may not be found when several access points sharing the same channel are available nearby.
- Frequency range



Wireless LAN device uses the 2.4 GHz frequency range. It employs the DS-SS and OFDM modulation systems, and has a maximum interference range of 40 m. It is capable of avoiding the frequency range used by RFID systems.

Safety Precautions

● 2.4 GHz device precautions

Wireless LAN devices share the same frequency band with; licensed in-house radio stations (in factory production lines), specific unlicensed low power radio stations, licensed amateur radio stations (hereafter, "other radio stations") and scientific, medical, or industrial devices (including microwave ovens).

- 1 Make sure no other radio stations are operating nearby.
 - 2 If handset interferes with an in-house radio station, immediately change frequency or cancel wireless LAN, and contact SoftBank Mobile Customer Center (see below).
 - 3 If interference with a low power radio station or amateur radio station occurs, contact SoftBank Mobile Customer Center. From a SoftBank handset: 157 (toll-free) From landlines: See P.15-59 for Customer Service.
- For use in an aircraft, contact the airline beforehand.

Copyrights

Copyrighted materials, such as music, images, computer programs and databases, and their respective copyright holders are protected by copyright laws. Duplication of copyrighted materials is permitted only for individual or home use. Duplications (including data conversion), modifications, transfers or network distributions of copyrighted materials for purposes other than stated above without permission of the copyright holders constitute an infringement of copyrights

and violation of copyright holders' rights, potentially causing claims for reparations or criminal punishment.


Always observe applicable copyright laws when making copies using handset and recording materials using handset camera.

The software installed in this handset is a copyrighted material and involves copyrights and human rights of copyright holders which are protected by copyright laws. Do not duplicate, modify, alter, detach from the hardware, disassemble, decompile or reverse-engineer the software in whole or in part by yourself, nor allow any third party to do the same, either.

Functional Limitations

After handset upgrade, subscription cancellation or long periods of handset disuse, TV becomes unavailable.

Caution

Do not use handset if it has been altered. Using an altered device is a violation of the Radio Law. This handset is certified to conform to the technical standards for specific radio equipment based on the Radio Law, and Technical Conformity Mark  is printed on the model name seal as certification. If you remove screws and make alterations inside of handset, the technical standards conformity certification becomes invalid. Do not use handset with the certification invalid, as it is a violation of the Radio Law.

SAR Certification Information

940N meets the technical standards set by the Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC) regarding radio wave absorption by a human body.

These technical standards have been established on a scientific basis to prevent radio waves emitted from wireless devices such as mobile phones that are used close to a human head from affecting human health. These standards require that the SAR (Specific Absorption Rate), an indicator of the amount of average radio frequency energy absorbed in the side of a human head, must not exceed the permissive value of 2 W/kg*. This value includes a substantial safety margin to assure the safety of all persons, regardless of age and physical size. The value is equal to the international guideline recommended by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) that has a cooperative relationship with the World Health Organization (WHO).

* The technical standards are stipulated in the Radio Law (Article 14-2 of Ordinance Regulating Radio Equipment).

The highest SAR value is 0.541 W/kg for 940N. This value was obtained in accordance with the MIC testing procedure with handset transmitting at its highest permitted power level. While there may be differences in SAR levels for various handsets, they all meet the MIC's permissible value. Because mobile phones are designed to operate at their minimum power level required to communicate with base stations, the actual SAR

of handset during a call is usually below the highest value.

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<http://www.arib-empf.org/>
(Japanese)

SoftBank's Body SAR Policy

- Body SAR: Value obtained from continuously talking with handset placed on the body using earphone-microphone at maximum transmission power.
- Specific Absorption Rate (SAR): Value obtained from talking continuously for six minutes.
- Placement on the body: Measurements are taken with the rear of handset facing the body at a distance of 1.5 cm as the standard handset position. In order to comply with radio frequency exposure requirements, use an accessory (e.g. belt clip, holster) that does not contain metallic parts to maintain a 1.5 cm separation between the body and handset.

For more information, see SOFTBANK MOBILE Corp. Website (Japanese):
<http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html>

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC Information to User

940N has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.

- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

940N is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The influence on the human body of radio waves emitted from mobile phones is measured employing a unit known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The maximum SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.346 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.355 W/kg. Body-worn Operation; this device was tested for typical body-worn operations with the back of

Safety Precautions

handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. Non-compliance with the above restrictions may result in violation of FCC RF Exposure guidelines.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <https://gulfoss2.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm>

after searching on FCC ID A98-HAE3588. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website: <http://www.phonefacts.net>.

European RF Exposure Information

940N is a radio transmitter and receiver. This product has been confirmed not to exceed the limits recommended by international guidelines for radio frequency. These guidelines were developed by the independent scientific organization International

Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) and include a substantial safety margin to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The influence on the human body of radio waves emitted from mobile phones is measured employing a unit known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg. The maximum SAR value for this model handset, when placed on the ear, is 0.677W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in SoftBank's Body SAR Policy. In this case, the maximum SAR value is 0.321W/kg*.

Since the SAR is measured at the highest transmitting power level, the actual SAR during a call is usually much lower. This is because mobile phones are designed to operate at their minimum power levels necessary to communicate with base stations.

The World Health Organization (WHO) has stated that present scientific information about mobile phone use does not indicate any adverse effects on the human body. They recommend limiting the talking time or using a handsfree device to keep the mobile phone away from the head and body to reduce influence of exposure to radio waves.

Additional information can be found at the WHO website:

<http://www.who.int/emf>

* Measurements with handset placed on the body are carried out in accordance with the

FCC standards. The values are based on European requirements.

Declaration of Conformity

CE 0168

940N is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.

The Declaration of Conformity can be found on the following website:
<http://www.n-keitai.com/>

Minding Mobile Manners

Use your handset responsibly. Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn handset power off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from use in restaurants, lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or vehicle traffic.